※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	看護小論文	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「これで合格　看護医療系の小論文」　（文英堂）						
副教材等	「新課程対応版　大学入学共通テスト対応版　LT 現代文１」（浜島書店編集部）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護系進路への進学を目指して、小論文を書く演習を行います。
さまざまなテーマに関心をもって、ニュースや新聞に触れるように心がけてください。
問題演習を通して、論理的な文章の書き方や文章を読む力についても鍛えていきます。
予習、復習などにも積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

〔知識及び技能〕については、論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。〔思考力・判断力・表現力〕については、文章や資料を対象化して，その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や，それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力をつけることを目標とする。〔主体的に取り組む態度〕については、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち，生涯にわたる読書習慣の基礎を築き，社会人として，考えやものの見方を豊かにすることを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	表で比較して主張をとらえる ［教材］ 「「わたし的には」の壁」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	具体例の役割を考える ［教材］ 「何のためのルール」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	話の要点を的確にとらえる。 ［教材］ 「無表情なキャラクター」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	具体例と結びつけて考える。 ［教材］ 「便利なものは必要ない」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	登場人物の心情を捉える。 ［教材］ 「豆腐造り」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	適切な情報を選択する。 ［教材］ 「植物がしたこと」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		c:学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている			
	筆者の主張を的確にとらえる。 ［教材］ 「見えない心に想いをはせる」	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	対比構造を読み取る。 ［教材］ 「畳の文化」	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　３０　)時間

・読むこと　…　(　４０　)時間